



5月

学校だより

平成31年4月26日
横浜市立八景小学校
〒236-0021
横浜市金沢区泥亀1-21-2
TEL 045-781-2434
校長

六年生の目標

学校長

いよいよ平成も残すところ数日となりました。5月には元号が「令和」に変わると思うと、少し寂しい感じもしますが、新たな気持ちで前に進もうという希望も湧いてきます。

希望といえば、始業式で六年生代表が述べた言葉が希望にあふれる言葉で、感激しました。代表児童は「六年生と五年生の違いは何か」「どうあるべきか」「六年生としての目標」について堂々と述べました。また、自分が考えた7つの目標を、有志の仲間と一緒に卒業式の呼びかけのように、みんなで声に出して発表しました。これまでにない新しい発想に驚くとともに、最高学年に対する自覚と意気込みが感じられ、新年度の希望の光が見えました。

きっと素敵な一年になると思います。ここに全文をご紹介します。

私たちが、小学校で桜を見るのは、この春で6回目だ。遂に最上級生になった。登校中にある桜の道を歩きながらふと考えた。六年生とは何か。五年生との違いは何だろうか？

僕の中で一つの答えが出た。六年生とは、学校を引っ張っていき、下級生の手本となるべき存在であるということだ。そのため、僕たち六年生はリーダーシップと責任感が必要とされる。たとえば、なかよし遠足では、六年生は先生達と同じで、決して、ふざけたり、自分勝手な行動をしてはいけない。僕たちがそういった行動をすると、自分だけでなく、下級生みんなを危険に巻き込んでしまう恐れがあるからだ。そして、自分のことだけを考えればよかった今までとは違い、六年生が全体のことを第一に考えなければいけない。六年生には、重大な責任感が必要なのだ。そこで、ぼくは六年生としての目標を考えた。それをここにいる六年生皆で声に出して言ってみようと思う。

- 目標
- 一、 大志をいやくこと
 - 一、 夢を叶えるために努力すること
 - 一、 失敗を活かすこと
 - 一、 わからないままにしないこと
 - 一、 親・先生に敬意をもつこと
 - 一、 感謝の気持ちを忘れないこと
 - 一、 下級生にやさしくすること



この7つの目標を意識して、立派な六年生になってみせる。